

問題Ⅰ

積極的安楽死の定義（特に間接的安楽死、消極的安楽死との違い）、構成要件該当性、不可罰となる根拠と要件、判例の状況を示せば良い。

問題Ⅱ

甲については、強盗罪（刑法 236 条 1 項）の実行行為性、即ち反抗を抑圧する程度の脅迫に当るか、さらに、被害者が反抗を抑圧されずに財物の占有を移転した場合の処理を問う。乙については、教唆行為と正犯の犯行との因果性、共犯の錯誤を論ぜよ。